

宇宙船は生きている存在だ

宇宙空間のアプリケーション

宇宙船の構造

この地球という惑星に住んでいる時は、この地球でスーツを着るが、我々は宇宙で旅行するためには船を必要とする。

しかし、これらの宇宙船は、事実上動的でなければならず、意識がなければならない。

言い換えると、宇宙船は簡単に再構成可能でなければならず、宇宙空間のいろいろな場所で異なる挑戦と状況に出会うときに、順応性がなければならない。

したがって宇宙船を造るとき、我々が自動車またはボートまたは飛行機と言ったものを作る時のように、材料をカットしてつくるようなことはしない。

宇宙船は、**Magravs** マグラブプラズマから作製されなければならない。

それには性質として意識があるので、宇宙旅行の必要条件によって、**Magravs** プラズマは「思い」によって集中でき、構成することができる。

動的な、宇宙船は、スペースの困難な領域を進むために縮んだり、多くのことに自身で対応することができる。

乗組員クルーのリビング・スペースはダイナミックに再構成可能で、決して退屈ではない。

宇宙旅行の間、宇宙船は乗組員を保護し、乗組員のために機能できるために彼らが地球にいるように適切に **Magravs** プラズマを通して地球の重力場を複製する。



宇宙船の保護技術

宇宙空間は、異なる形の物質と様々な状態の **Magravs** フィールドと異なる強さの環境でいっぱいである。

宇宙旅行の間、乗組員の安全と幸福のために宇宙船を取り囲む周辺の **Magravs** フィールドの境界線では、これらの外部の物理的特性とフィールドが宇宙船の内部に入るのを防がなければならない。

地球または他の天体の **Magravs** フィールドの保護層を通して宇宙船でも同じ **Magravs** フィールド境界層は調整することが許され、調整することもできる。

Magravs フィールドの境界層を調整するための同じ原則は、宇宙旅行の間、必要とされる。

エネルギー、その転換と再転換

宇宙空間でも宇宙船の位置を構成する同じパワーソースは、宇宙船自身とそこに居るその作業員のエネルギー条件を提供しなければならない。

Magravs プラズマが宇宙船を構成するのに用いられるのと同様に、**Magravs** プラズマは材料をつくるのに用いることもできる。

それによって、カップ 1 杯のコーヒー、今まで着ていたのと同じ新しいパンツ、宇宙服またはもう一つの惑星探査のための小型の宇宙船といった物でも、材料は必要な時、すぐにつく

ることができる。そして、すべての考えがプラズマの **Magravs** フィールドを変える。
母船にある小さなスカウトシップをたくさん収納する大きな格納庫は、全く不必要である。
同様に、アイテムが使われて、それがもはや必要で無くなったら、それは **Magravs** プラズマへ再び変えることがありえる。
このように、宇宙旅行者はがらくた、廃物の保管と汚染についてもはや心配する必要はない。
自然の洗練されたリサイクルの中にそれはある。

さらにまた、宇宙旅行の間、異なる磁気の強さと、いろいろな宇宙線と重力場に、遭遇する。
Magravs プラズマ技術によって、これらの光線は乗組員と宇宙船の必要なことによって変えることができ、使うことができる。

空気、食物、水と栄養

宇宙旅行は、1 か月、1 年、または数十年の間、地球から離れていることを意味する。
そのような長い航海のために家から酸素、食物と水の備蓄を持って来る実用的な方法が、ない。もう一度、**Magravs** プラズマは、宇宙船の乗組員が呼吸する空気を不可欠な栄養を補給できるように、再構成することができる。
飲食は全く喜びのため、そして、社会的な活動として確保される、そして、飲食物は要望通り **Magravs** プラズマから構成することができる。

薬と医療装置

備蓄品をすべて乗せて持つて行くことは実用的ではない時、いろいろな病気を治療するためにいろいろな装置と薬を持つて行くことも実用的ではない。そんなことから、宇宙旅行の間、その幾つかだけは持ち込まれるが、現在の医学には知られていないものである。
いくつもの異なる病気があるかといった観察よりはむしろ、身体のバランスを識別し診断する方法で、身体をバランスのよいシステムとして見て、彼らに起こっているアンバランスを修正することが重要であると見ている。
誘導された **Magravs** プラズマを通して、体と、心と感情の自然なバランスのとり方で怪我は速く癒やすことができ、精神的な病気は速く治療することができる、そして、悲しみは速く高揚することができる。
体、心と感情は、これらが必要とするものだけをとる。
日常的にある傷と衝突を癒やすだけでなく、手足の喪失のような多くの重傷についても、強力な方法で対処することもできる。
Magravs プラズマの誘導を通して、失われた手足は再成長することができ、そして、宇宙旅行に関連した遺伝的な障害も修正することができる。



方向指示と飛行コントロールと地図表示システム

宇宙旅行は超光速に見えるハイパールミナルな発光速度を含んでおり、思いの動きに接近している。

そのような宇宙旅行の速度には、現在のボタンや、ジョイスティックなどのような指示命令およびコントロールシステムとインターフェースは、ひどく不十分である。

意識的な Magravs プラズマ技術で、宇宙船の操作のインターフェースは、全てキャプテン・パイロットの思いを通して機能する。

環境と宇宙船の軌跡のモニターもセンサーによって思いの速度で動かす。

そのように、情報とそれに対応するコースの訂正は、小惑星に正面から激突する心配なしに、効果的に始めることができる。

同じテクノロジーは、天体（例えば小惑星、惑星と星）の地図を作るのに適している。



コミュニケーション

ナビゲーションとコントロールシステムと同様に、地理調査任務の人と **Mothership** マザーシップの上の乗組員との間の両方のコミュニケーションと、マザーシップと地球に拠点を置く本部との間の、常にかいている、待ち時間ゼロのチャンネルを維持することは、宇宙旅行の間、重要である。

そのようなコミュニケーションの瞬間的な経路は、**Magravs** プラズマ技術では自然である。**Magravs** プラズマには意識があって、一般的につながっていて、遍在しているので、人間の考えによるインターフェースとなるセンサーは即座に膨大な距離を通して通信を伝える。

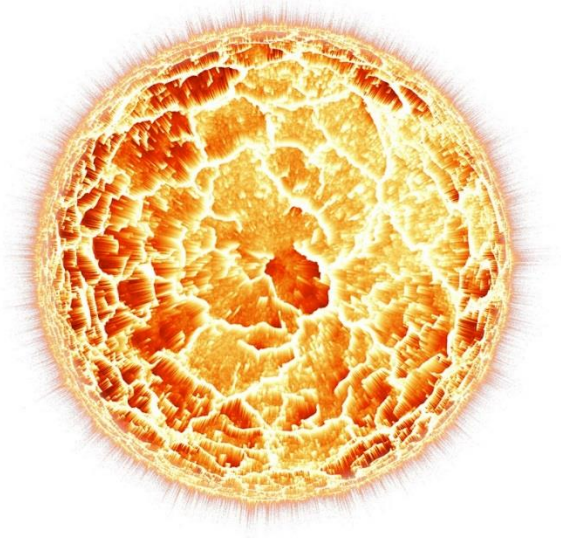
捕獲と牽引システム

スペースでは、それを必要とするときだけでなく、緊急援助を提供する準備が絶えず用意してあることが必要である。

同様に宇宙船はその **Magravs** プラズマの膜のバブルの中に、またはプラズマ・エネルギーのバリアの中にあるが、膜から離れたもう一つの物に同じバリアを、かけて一体化することもできる。

使用禁止になった宇宙船は、補修し研究するために最も近い修理ステーションに牽引することができる。

牽引が实际的でないならば、使用禁止の宇宙船は負傷した乗員のために必要とされる修理と医療扶助のために救助宇宙船で捕えることができ、持って来ることができる。



テレポテーション

宇宙船と宇宙船の間で、そのうえ、惑星と惑星の間を旅行する最も速い方法は **Magravs** プラズマの入口からテレポテーションを通してである。

そのような入口が宇宙船には存在していて、必要に応じて使うことができる。

ポータブルな **Magravs** プラズマの入口は、惑星の上を、あちこちと転転と動くのに、効率的な手段として地理調査研究をしている乗組員によって、持っていくこともできた。



トレーニングの必要性を理解すること

宇宙船プログラムの中にはトレーニングが含まれているが、決めるのは魂をもつあなたである、そして、惑星ゼウスの上に行くのを決めるのは魂の強さである。

より多く与えれば与えるほど、低いものを良くしていく、強さを得る。

あなたは、何を成し遂げたいのか？

より高い強さのプラズマを得ることにある。

これは、あなたの作ったものの中に、より高い秩序へと移動する場を生み出す。

宇宙のスペースを旅すると、人間の強い魂が、あなたに現れてくる。

これは、新しい、美しい知識である。

構造と魂、感情と肉体主義の作業を理解することなく深淵空間のスペースに入ることは、パラシュートなしでエッフェル塔からとんで、生き残ることを望むようなものである。

また、我々がレベルⅠの最初のクラスで、初めてリフトから、とぶのは魂を信頼しているからだ、そして、私が宇宙の鳥になることができるという私自身に強い感情があれば私の中にテクノロジーを開発し成長させることができる。

宇宙空間では、衝突する領域はない、そして、それを理解することは宇宙のプラズマを開き続ける方法なのである。

それには、その特有の美しさがある。

そして、学ぶ時間もかかる；

最初に翼を得たとき、翼をとりはずすことをしなかった。

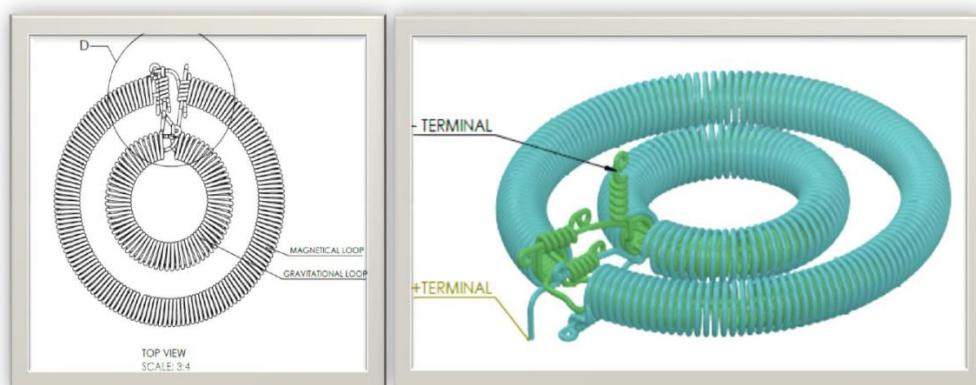
これまで、保護しカバーするものがなくては深淵空間の中には入れなかった。

死の恐れは、これを試すことを妨げた。

しかし、実際、脳、感情と魂と一緒に調整して、いわゆる宇宙船が境界線を去るとき、入っていく環境に向けて身なりを整える。

他の多くの人がある地点に着いたことがないので、参照する本もないし、魂の経路を自分で見つけなければならず、人間は到着する宇宙の地点まで独学でいかなければならない。

地球に戻ることができず、『ここ』について何を言うか知るために図書館に行くことができない、あなたは『すぐにそういう環境である』ことを知るので、その環境でも身体性の現れ方を述べようとする魂の強さがあることを理解しなければならない。



COMPLETE SINGLE MAGRAV CONNECTION

速度、そしてゼロ・時間の旅行、

将来のパイロットは、彼らの旅行の願望に関する真実の男である

それはこれまであなたがそこに到着してなくても

彼らがいかなる点でも関係の状態をつくることができるので、あなたに目的地の点を明らかにすることができることを意味する

これは、ゼロ・時間旅行である。

ゼロ・時間旅行は、実際には 0 時間で旅行していない；

それはあなた自身に時間を開いて、真実がわかるようにする。

我々は、それを啓蒙と呼ぶ。

目的地に向かう強さをつくることができれば、あなたは目的地にいる。

進化して、その地域の人々をわかり適応することができるようになるために我々は、数百万年の時間を持っていない、我々はそれを見て、環境に適応し進化するためにそこに座ることができる。

それは自然発生的でなければならない。

我々が言ったように、あなたは、人間の想像力の速度を越えた速度で旅行する。

もうそれは無関係なので、 $E=MC^2$ の支配はそこに存在しない。

我々は光速の数倍の規模、数百倍もの規模によって、旅行する。

我々は、そのためにどれくらい準備ができているのか？

私はその速度が想像力を越えた速度によると言い、身体性をコントロールしたいので、コンピュータがコントロールシステムでは役に立たないと言った。

それを通り抜けるとき、あなたは宇宙空間では、アルミニウム・フレームでは人を保護し包むことができないだろう。

そういうわけで、あなたは、航空機の操縦において魂の条件に耐えるために、フレームをプラズマから製造する。

私の教えたことに戻ると。

私は常に、コンピュータがあまりに遅いと言った。

人間の考えと感情は、環境のなかに運動のコンデションと航空機のプラズマを生む；

いまはそれを、あなたはもうわかっているはずだ。

多くのことを理解して、あなたが製造したすべてのツールを見る時間である。

これらの多くはあなたの身体原理と魂の間の関係だった、そして今まで、このことを決してわからなかった。

しばしば、私は、ワイヤーと電子機器のコミュニケーションの動きがあまりに遅いので、飛行システムのコントローラは人間の魂であると言った。

エレクトロニクスはニューロ・システムのようなものであるが、情報が目的地に行くまでには時間がかかる；

それは、あまりに遅い。

しかし、このフィールドはこれらの強さと速度で、直接相互作用する。

現在、あなたは、ゲームで全てを理解することがいかに簡単か、わかる。

THE OASIS PROJECT

Every human has a right to have electricity, water, food and warmth. His proper oasis. Today 1.6 billion people lack electricity, a shame. How many drink only dirty water? How many need warmth and shelter? How many are hungry? How many worry about their kids? To us, to many of us need basics. What can we do? A Solution?

Therefore we start the Oasis project, and target to give every human minimal comfort. We can do that through new developments in plasma reactor technology. A nuclear reactor, designed by M.T. Keshe, a nuclear physicist, is the heart of a special energy/water supply system. A Oasis unit can create on any spot on Earth water, current and heat. It is a small omni-functional portable unit that can be used in all areas with extreme living conditions and a high need of water, current, heating. The low cost longevity Oasis unit can be made in all sizes and may include various modular extensions.

Next to satisfy basic needs a Oasis unit will trigger development of local economy, agriculture and trade. Access to electricity provides also access to electronic devices and communication means, which will facilitate distance education and promote human knowledge.

Small sized Keshe Oasis units - of the size of a suitcase - will provide current, water, light and warmth in refugee camps, hospitals and disaster areas. Organizations like UN, the Red Cross and NGOs may distribute and use Oasis units. Governments can include these versatile units in their proper social and economic programs and policy.

**... Creating for Everyone
a Proper Place of Comfort and Dignity**

KESHE OASIS UNIT

INTAKE AIR
INTAKE SEA-WATER
INTAKE DIRTY, POLLUTED, CONTAMINATED POISONOUS WATER
INTAKE UNDERGROUND MOISTURE OR GROUND WATER

COOKING
LIGHTING
HEATING
HOT & COLD WATER
COOLING PART
CURRENT

CHANGING LIFE CONDITIONS
CHANGING LIFE CONDITIONS
BRINGING SUFFICIENT WATER
... EVERYWHERE

For more information about Keshe Plasma Reactors, Licensing and the Oasis project:
www.keshe technologies.com
info@keshe technologies.com

This page contains proprietary information. © MT Keshe 2005. All rights reserved. Patents pending.

宇宙空間での都市建築

我々は、構造の開発における次のステップを探している。

我々は、建物を造るために、レンガとモルタルを必要とするか？

我々が深淵空間で将来建設する必要がある建物は、プラズマの相互関係の理解から出てくる。

人は、他の多くの宇宙文明がそうするように人が必要とする建設のための、材料の条件と、つくる方法も知っているので、どんな惑星も最も深いスペースではない場所に、都市を造る。これは、我々が通過している地点である；

今、その第一歩がふみだされた。



すべての **Magravs** プラズマは磁気（暗黒エネルギー）と重力の力（暗黒物質）の組合せの意味でほかに類がない、そこでは、**Magravs** プラズマは同じ極性の反発しているフィールドの2つの磁極と、誘引する2つの対極のフィールドのようにふるまう。

暗黒物質と、**Magravs** プラズマの重力部分は、エントロピーの原因である。

暗黒エネルギーと、**Magravs** プラズマの磁気の部分は、秩序と生命の原因である。

それ故、**Magravs** プラズマのすべては磁気のフィールドを含むので、創造されたすべては生きていて、意識がある。

物質は、単に弱い磁気を持ち、より強い重力をもつ **Magravs** プラズマである。

調査とその展開

ケシュのスペースシップの研究財団の調査と展開のチームは総合的な技術のエッセンスを具体的に示した。

その研究と発展の全ての中心は宇宙空間の探検である。

どんな燃料も燃やすことのない特注をもつプラズマ反応器を通して **Magnetical** と重力場（**Magrav**）の操作を使った宇宙旅行は、チームの目標である。

光速以上の速度で宇宙空間を旅行している間、**Magrav** フィールドの支配と操作で、特定の

範囲内に、地球状況に似た住みよい持続可能な環境と、宇宙空間を旅行する人のすべての必要に対処できる状況と環境をつくる。

チームは、テクノロジーを調査し実験し以下のように展開する。

"リアクターの反応状態でのエネルギーの作成"

"排気ガスのないまたは無駄のないクリーン・エネルギー・システムの開発。

"宇宙空間で人が食事する際のプラズマ食物エネルギー・システム"

"大気で摩擦フリーな旅行を経験するためのリアクターを使用した **Magrav** 位置システム。

"

"大気の変わらぬ条件のなかでの光速より数倍の速さの旅行速度の実現"

Magrav システムを所有した宇宙船で安全で住みよい地球環境を宇宙船の中につくることで、宇宙空間の無重力状態を制圧して、宇宙旅行をする。

""

"どんな放射線または薬物もない、押し付けがましきのない処置を通して、ガンその他のすべての人間の病気を根絶する（正常な細胞のエネルギー準位から離脱しているのをリセットすることで）"

単純で実用的な方法で物質と新しい分子の生産のために核融合する能力の実現。"

"これらの液体または腐食性の圧力に対して懸念することがないので、地球の海のどんな深い部分にも、または惑星の流動化しやすいどんな所でも旅行できる。"

"宇宙空間の中での出来事と現象のための遮へいと防御システムの開発"

"0 時間の通信システムの開発"

"今日の世界に役立つ、単純で実用的なプラズマ製品の作成。

KF ケシュ財団のイタリアの宇宙船研究所の教えの下でプラズマ **Magrav** テクノロジーを学び、**Keshe** 財団（メヘラーン **T. Keshe**）の創設者と密接に働いている世界中の共同で働く世界クラス科学者とエンジニアから、チームは成る。



KF ケシュ財団の製品開発とインターナショナルな開発 (KFPIDI)

イランの核エンジニア M.T. Keshe、によって財団は創立された。

これはケシュ財団研究開発団体の管轄下にある非営利的非宗教団体である

KFPIDI の主な推進力は、以下を通して KF ケシュ財団が支持することにある：

a.

Keshe 財団の製造グループの新しい科学的プラズマ技術による装置と開発は人間性をサポートするが、プラズマ MAGRAV 技術が提供する広く大きな機会を利用する巨大な可能性を目覚めさせる必要がある。

KFPIDI は、その信頼のあるプラズマ原理を使って、人類を本当に長続きする平和に到達する方向へ進むのを助けるためにいろいろな装置を調査し続ける。

環境汚染、エネルギー欠乏、水資源、健康と食品問題に対処する革新は、最前線にある最重要課題としてある。

b.

提出されたプラズマ革新技術の確認とテストを行う。

世界中のプラズマ 革新技術の発展するコミュニティは、プラズマの役割とプラズマの知識を増やし共同で働く機会をふやした。

開発者は、現在のテストと確認を通して更なる発展のために彼らの開発を KFPIDI に提出することができる。

すべての成功したデザイン（青写真）は、先例のない速度で誰にでもコピーし、人類が前進するために利用して、さらに強化するためにここで分配される。

宇宙の深淵空間

深淵空間に満足して、住むことができるためには、もっと状況がどうであるか理解しなければならない。

この地球上の、限られた変化に我々は慣れている、そして我々が持っている、変化のパラメータはその限られた範囲内のものである。

これが意味するものは、我々が軽い熱の範囲内で研究をして来たということで、そして、その圧力が変わるとすべて意味が変わるのである。

我々が直面する圧力と温度がわずかに異なるならば、我々是对処できない、そして、エネルギーの転換を行っても、身体が対応できないことがわかっている。

こうなることは、我々の体は計画していないし、それを設定してもいない

人間の魂と体の相互作用の原理は、宇宙に見られる次元と開放性を生む。

人はその一部なので、人は宇宙の深い所を旅する必要はない；

人は、その中に生きている。

そして、これを理解するのは、人間には非常に難しい。

宇宙の深淵空間に取りかかるには、我々は感情のコントロールを理解しなければならない、そして、我々はこの惑星と同じように人間の身体の肉体第一主義からの脱離を理解しなければならない。

我々は、我々自身の感情の平和的な適用と魂と他の魂との感情の相互作用を学ばなければならない。

肉体第一主義というのは宇宙の深淵空間とは異なる環境下の存在の現れ方に基づいており、我々は、もうそうした肉体主義からは別れ、すでに立ち去っている。

宇宙の深淵空間はとても美しい、そして、それを発見するのは人間である。

あなたが宇宙の深淵空間を、旅行していると想像したなら、この旅する速度で、あなたとともに進む光は理解を越えた速いものである。

生き残るためにこれに対して目を閉じることを教える。

しかし、どんなふうにしたら、目を閉じることができるのか？

そして、目を閉じるとき、旅行しているその環境をどのように、信頼するのか？

生き残るための未知への恐れは、男の首のあたりで縄の輪になる。

そういうわけで、あなたは、我々が先への展望なしで理解するよう教え始めたと思うはずだ。

このように、我々は 17 キロメートルまたは 17 マイルの地平線の情報しか見ようとしないが、あなたはこの宇宙の深さがわかるようになる。

人間の脳の研究はそこでいくらか発達した。

自分自身の理解から恐れを持つ人間は、脳の入口をこれまで開こうとしなかった。

人間の脳が進化することが、恐ろしいのである。

我々は肉体が縮むのを見るのだが、感情と人間の魂は開いて拡大するのを見る。

ある意味では、男の脳は、裏返しにされたジャケットのように価値観が反転する。

なぜなら我々が深淵空間での早い速度と高度な強さのフィールドを見るには、多くの感情と魂の強さを必要とするので、17 キロメートルの範囲は見ないが、それよりも、17 光年を見ることになる。

あなたが宇宙の深淵空間に入って、光りを見ようとするとき、多くを見なようにすることがある。

他方、あなたは広がることができ、作製した宇宙船の境界の向こうを見ることができる、人間の展望は魂を通り抜けて広がる。

ある意味では、この、自身の魂の場の強さの境界線を見るならば、あなたは宇宙の中心になるだろう。

それほど多くの光りが通過しとても速いことを認めることは、人間の脳では理解できない。

彼ができる唯一のことは、物質秩序より高い速度に次元を増やすことである

それによって、そこに来る情報を読むことができ、解読することができる。

男の脳はほんのわずかなストレスで燃え尽きる、そして、我々はそれを脳卒中と呼ぶ。

あなたが人間の感情的な側面のレベルの強さを達成しないとき、あなたがどのようにこれを取り扱うか想像してみなさい

宇宙の境界線全体からみると、その肉体主義のために、多かれ少なかれ非常に小さな跳躍でしかない。

これは秘密である、そして、これがキーである。



同様に、宇宙旅行が可能になるのは、この終わりまで引きつける力と反発のメカニズムによる。

宇宙空間に宇宙船を置くことは、目的地の **Magravs** の指紋に関して反発する磁気の力を与えるか、または誘引する重力の力を拡大することによって起こる。

目的地へ行くためには、宇宙船は単にそれ自身をその場所の重力サインに合わせなければならないだけである、そして、宇宙旅行は超光速に見えるが、さらにハイパールミナルな速度が起こることもありえる。

光速は、現在の知識の規制の外にある。



惑星へ降下する間、徐々に失速していくために、宇宙船は惑星の磁気のサインに自身を相互に合わせていく。

ロケットと燃料は、歴史的な遺物である。

Magravs プラズマは、宇宙船を宇宙空間に置くためだけでなく、多くの他の方向でも役に立つ。



宇宙船は非物質的である、これは生きている存在だ

宇宙船は非物質的である、Spaceship 技術は全体としてあり、我々の動く指のような部分的なものではない。持っている性質が生きている存在がもつような全体的な性質を持つ。

宇宙船技術は、肉体的な人間だけでなく、人間の魂の発生の本質を理解することになる



これは秘密である、そして、これを理解する人々はこれまで彼ら自身の物理的な体を動かすことなく宇宙の時間を進む。

そして、これは、人間と彼の知識から隠されてきたことである。

人間の宇宙船は、人間の魂である。

スピードとゼロ-時間の旅行

将来のパイロットは彼らの旅行という願望に関して、たとえ到着していないとしても彼らがその場所との接続の条件をつくることができるという真実をつかんだ人間であるそれは、彼らがいかなる点でも目的地の状況をあなたに明らかにすることができることを意味する

これは、ゼロ-時間の旅行である。

宇宙船技術は全体として存在しており我々が動かす指のような部分的なものではない。宇宙船技術は、人間の肉体主義ではなく、人間の魂の作成の本質を理解することからできている。

これは秘密である、そして、これを理解する人々はこれまでのように彼ら自身の物理的な体を動かすことなく宇宙の領域を進む。

そして、これは、人間の知識から隠されていたことである。

人間の宇宙船は、人間の魂である。

宇宙船に乗り込もうとする人々は、次のステップにむけて育っていなかった人々である。

これは、臨時的なものである、そして、意志が臨時的に長く採用してきたこの方法は、人間の魂の成熟次第で変わる。

多くのことを理解しようとしてこのステップを踏み出す人々は、宇宙船製造業者であろうとする。

彼らは、他の人から盗み吸収するのでなく、魂のレベルを上昇させて、宇宙のスープを利用できる**真実のレベル**でフィールドの入手可能性を増やそうとするからである。

あなたは、自分のものをプラスしてその強さで他の魂と通信することができるはずだと理解する。

あなたはそれはエネルギーの交流だか、言語のようであることを理解する。

あなたは我々がこれまで教えたすべての知識を持って来れば、全体の最終地点に来たと思う。

まだ身体的に飛ぼうとしていて、あなた自身の魂の活動を理解するならば、あなたは航空機の魂と相互作用する方法を理解する。

あなたは遠隔操作を必要としないし、あなたはコントロールを必要としない。

非常にゆっくりとした、フィジカルな支配は、あまりに遅い。

彼の今までの事業では人間の魂が小さな部分で、彼の身体原理のイメージで考えられていると理解しなければいけない。

それは他の次元を持っていて、それを越えた次元はとても非常に異なり、非常に強い、非常に弱い、

そしてそれは魂の他のレベルと、肉体主義との交互作用そして、宇宙空間の旅行の自由を持っている。

宇宙空間を旅すること

宇宙に旅行すると、今まで過ごした地帯の環境を1度去って、この惑星での大気の状態を作らなければならない。

それは、前のと少しも異なることはない。

あなたは、2つの **Spaces** の間を旅行している。

それはあなたがコンディションについて、理解するためである。

与えられた環境の場の強さの条件をつくり、そこにとどまるならば、あなたはそこに適応してふるまう。

あなたは、生命の新次元を経験する、あなたには、多くの学校がありそのフィルタはあなたの脳が肉体に現れるのを許す、

この頃には、あなたは学校に行く、あなたは操作の仕方を学ぶために学ぶ、そして、ドライビング学校に行く。

あなたは、歩く学校、コンピュータ学校に行くが、間もなく、これらの学校もすべて変わる。

惑星ゼウスのコンディションは、惑星の護衛空母の状態である、

惑星はそうした、状態である。

私は、3週間惑星ゼウスに休暇に行ってみたい。

こうした学校に行く必要はないことを知るまで、惑星ゼウスまたは護衛船状態で生きる方法で活動しに行く。

現在、あなたは、変化する方法を学んでいる。

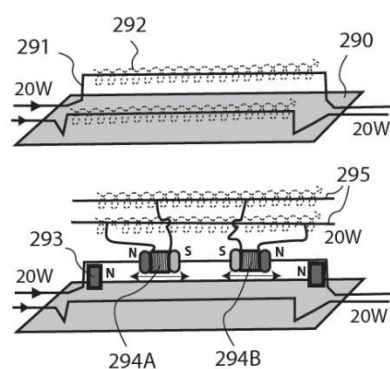
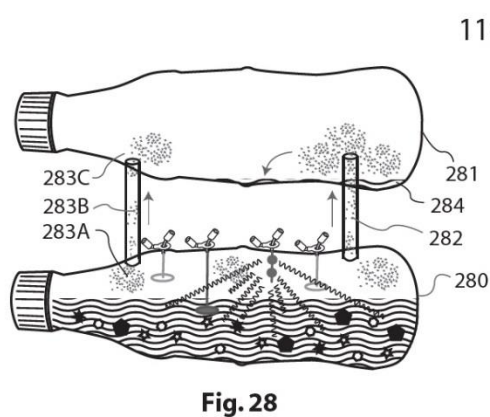
あなたは変わるので、そこに行くときに起こる予定のことへの恐れはない

これは生命が働く方法なので、あなたは、それに向けて進化する。

こうした中で前の磁気の位置に戻ることが人間が理解する時が来る。

あなたが何もすることなく感情と身体的な様子をエネルギーの物質状態を変えて世界中に自分自身を動かすことができる。

あなたが与える率と取得する率を変えると、今まで適合して生きていた位置を必要とした位置へと変える。



我々がセットアップした新しい公式では、我々は到着の位置を A または B と述べると、この公式が適用され到着することが理解され、また旅行の速度を述べるとそのとおりになる。あなたは、科学的な研究により、美しいコントロールシステムがあり、それは、惑星の目的地に、我々が行きたい、生命を支える特徴を持った星または銀河に広範囲に及ぶプラズマ状態をつくることを理解しなければならない

これは（宇宙船）を常にその同じ点のままにしている。そして、目的地はだいたい宇宙空間にある惑星、星または会合場所となる。

このプラズマの速度の理解で、科学者は必要とする次の段階の宇宙船プログラムを理解して現在開発することができる。

航空機は、連続的に目的地を A または B にできるが、目的地に多少固定される。

できるだけ速く接近する状態をつくりたいと同時に、宇宙船の保護膜を失いたくないし、宇宙空間で接近するときは、ブレーキがない。

あなたは何もつけない。そして、『推進力を反転し

『必要なことのすべては、バックすることで

惑星の磁気フィールドの正確に計った強さと、あなた自身のリアクターの強さによって、重力場をつくり戻ることである。

そして、あなたは『光速』のなかで停止する。

あなたは、パイロットが判断の基準と言っていた旅行の目的点を見なければならない。

これらの立場をとる将来の人間は、そのような飛行はコントロールすることが我々の現在の電子の電気システムではできないという関係性を理解する。

そのような飛行の変化は、人間の進化によって、適用できるだけで、その人は保護のために彼の皮膚の色を変えることができることをあなたは理解する

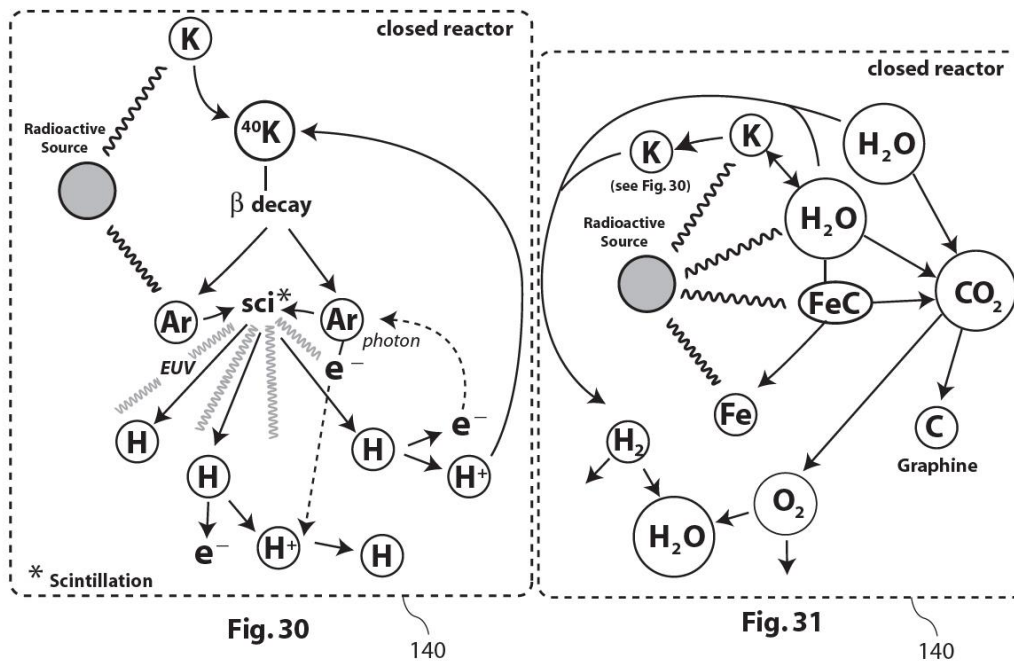
パイロットはすべてを感情と理解を通して支配する、そして、彼はすでに事前に計画した惑星、星または銀河への脱出ルートを与えられる可能性がある。

あなたは自分自身をすでに『特定の位置』に据え付けた、そして、あなたのシステムはそれに関して連続的に作動する。

天井にへばりついたクモのように、(蜘蛛の網の中の) そこからさがる。

危険があるならば、糸(蜘蛛の網)がすでに作られているので、クモは天井に上がる。

これは、あなたが開発するものですすでに作られていることである。



来たるべき時、宇宙旅行は、物質状態でなく一最終的なラインのアプローチでなく相互作用として宇宙で行われる仕事を理解する人々のためのゲームになる。

我々は宇宙空間にどれくらい深く、入りこむことができるか？

それは、とても海にもぐる、ダイバーに似たものらしい。

彼らは、深くまで、行くことができ、そして、より深くまで試すことを知っている。

宇宙空間に来るとき、あなたは非常に面白い何かに出くわす。

多くの人種に、性が存在せず、彼らがいつ、あるべき性の違いが決まるか、言うことができない。

あなたが、内部的に、何でありたいか決めるので、人間に恥が存在しないので彼の再生器官と胸を見せる。

それでもなお見る。

そこに隠すものは何も、ない.....

人間の魂が裸なのであなたが運ぶものはあなたが示すものである、。

そして、これは、あなたたちの多くが問題を抱えていることである。

我々は、説教をしない。

我々は教えていく。

我々は、あなたが運動を始めることができることを教える。

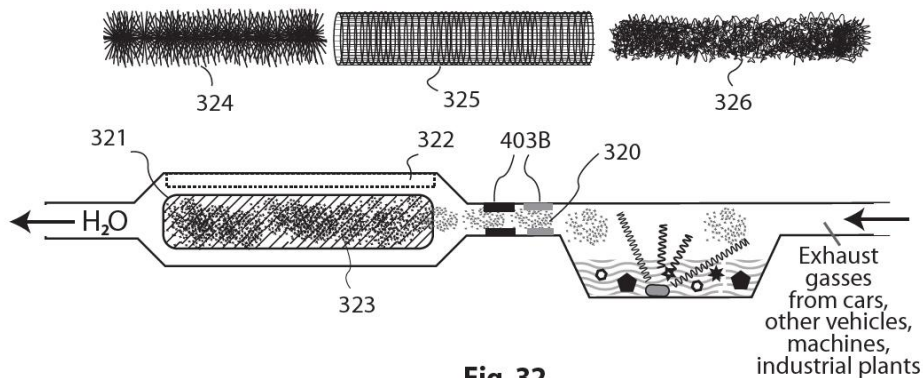


Fig. 32

宇宙空間の人間は、人間の魂が日の目を見る、

最終的には、肉体主義が環境を受け入れるので人間の肉体主義はここにはない。

そして、それは人間におこることと同じである。

あなたは、物事を見るエキスパート達人になる。

あなたがそこに憎しみが無いのを見るので、それをわかり、そこに平和があるので、戦う必要がない。

あなたは、これを望む？

それは、あなたのものである。

私が味わっている方法を経験したいなら、あなたは私の魂の一部を望む？

私の魂の一部を持っていなさい。

私がどう感じるか、あなたが感じるフィールドを、私は作りだす。

私は、惜し気なくあなたにそれを与える。

我々の魂は、魂の初めの時間からこうやってきたことは、奇妙である、

しかし、この地球の身体原理の現れによって、これまでこうしたことは人間には理解されず、通じなかった

大気がこの惑星の位置を条件づけるので、この銀河の、この太陽系の惑星でのコンデションはこの方法になる。

我々の魂は互いに接触しており、これらと互いにコミュニケーションしている

しかし、肉体原理の世界にいたいので、肉体原理においては、我々は自身の無知のベールの背後に生きている。

宇宙の中で乗客になった今、一方なしでは他が存在することができないので、我々はその 3

つ全ての大きさ全体を受け入れなければならない。(リンクしている)
感情と身体の原理の原理的な移行がなければ、物質状態の変化の徴候は存在しない

ケシュ財団に関する知られざる真実の公開

ケシュ財団は人類の夢である、武器と戦争のない世界を実現いたします。皆様ひとりひとりがケシュ財団の技術を利用し、この大きな取り組みの一員となれる時代がもうすぐ実現いたします。私たちは世界の平和と繁栄の新しい時代の証人となり、ケシュ財団が全世界に公開する技術は、この夢を実現するための設計図となるのです。この技術によって、私たちは地球上に楽園を見いだすことが可能となるでしょう。

本日の発表でお伝えするのは、ケシュ財団の今までの取り組みと隠蔽された歴史です。この歴史をご覧頂ければ、なぜ私たちがこの情報を公開に踏み切ったのかご理解頂けると思います。時代を追ってご紹介していきましょう。

2004

- 'Creation of black holes' (ブラックホールの創造) と題した論文が英国天文学会にて発表。同日 M. T. Keshe 博士は英国天文学会より、同じくブラックホールに関して記載し、ブラックホールによるエネルギーの放射はないと記載された博士の論文は公開せず、図書館へ保管し調査する旨の連絡を受け取る。天文学会にて発表されたホーキング博士のブラックホールに関する理論は、10年もの間信じられてきましたが、2014年今月になってホーキング博士はこの持論の誤りを認めました。その際に発表された論文はケシュ博士が元々提出した論文のほぼコピーといっても過言ではない内容となっています。

<http://forum.keshfoundation.org/forum/keshe-official/31282-stephen-hawking-has-abandonedhis-theory-of-black-holes>

- ケシュ博士は BNFL (英国核燃料会社 British Nuclear Fuel:

<http://en.wikipedia.org/wiki/BNFL>) に重力場における力学の確認に関して放射性物質の試験が必要であると問い合わせました。BNFL はファーンバラの軍事航空ショーにケシュ博士を招致し英国国防大臣に引き合わせられました。その際ケシュ技術の検証評価を依頼しましたがケシュ技術についての数々の誤認があり正しく理解されず、協力関係を継続することが出来ませんでした。その後ベルギーの FLAG (ベルギーの宇宙航空研究企業 <http://www.flag.be>) に出会います。元 FLAG 代表の Mr. Karel Vervoort によってケシュ博士はベルギーに招待され技術の検証評価が実現したのです。

- FLAG はブリュッセルにある VUB 大学 (Vlamse Universiteit Brussel) の Mark Van

Overmeire 教授 (<http://mech.vub.ac.be/avrg/members/marc.htm>) へ博士を紹介し、ケシュ技術の検証がはじめて行われました。(Report on the Project Proposed by Mr Keshe - 2005 参照)

2005

-Mark Van Overmeire 教授は、エネルギー生成理論は実現可能であり、ケシュ技術に対して「この技術のエンジニアリングを分析することは重要であり、更に詳細に分析することを薦める」と述べました。その結果、ベルギー政府は Verhaert 社

(http://www.verhaert.com/cms/images/stories/pdf_in_text/groupprofile.pdf) に評価試験を行うよう依頼します。その試験結果はこちらからご覧下さい。評価の後、彼らはこの研究に対して€500.000 を投資しパートナーになることを希望しました。

-2005 年 5 月 30 日付けの電子メールが証するように、Verhaert 社は、研究パートナーとして

VITO (モルフラマン原子力センター :

<https://www.vito.be/VITO/NL/HomePageAdmin/Home>) と協定しました。同メールにて IWT (ベルギー政府の研究協議会 <http://www.iwt.be>) へプロジェクトの資金調達の依頼も行っています。

-Verhaert 社との契約のため、ケシュ博士はこの領域に専門特化した弁護士を任命することを依頼しました。Hans Bracquené 氏が紹介され、ケシュ博士に代わって Verhaert との契約を交渉を進めることになりました。この会議は、ルーヴェンの Bracquené 氏の事務所にて

Bracquen 氏、彼の秘書、ケシュ夫妻の 4 人が立ち会って行われました。ケシュ博士は Bracquené 氏が Verhaert の弁護士も兼任し、彼自身が契約書を書いていたのではという疑念を抱きました。これは明らかな違法行為であり、これを追求すると Bracquené 氏は事実を認め、さらに彼はケシュ博士が共同作業をすることを拒否した場合、ケシュ博士を暗殺しようとしていた 4 企業の名前も明らかにしました。この会議は直ちに取りやめとなり、その後のベルギー政府との問題が勃発するきっかけとなりました。もう一つ事実として、Bracquené 氏は VITO モルフラマン原子力センターの顧問弁護士も勤めていたのです。

-更に Bracquené 氏はベルギー政府の研究協議会である IWT の顧問弁護士でもあり、2003 年にはヴァンメッヘレン大臣の内閣責任者であったと同時にルーヴェンにある IMEC (http://www2.imec.be/be_en/home.html) の最初の礎を築いた人物でもあります。

<http://www.dirkvanmechelen.be/2003/minister-legt-eerste-steen-van-nieuwe-imecgebouw/?foto=0>

-下記の記事は 2003 年 12 月 19 日、De Standaard 紙にて掲載された記事の抜粋です。
http://www.standaard.be/cnt/dst19122003_008

「内閣の責任者はもはや制御できない」ブリュッセル -ディルク・ヴァン・メッヘレンの内閣の責任者 Bracquené 氏は、技術研究所 IWT の政府委員としての委任された。目的は、相反する利益を除外することである。

Bracquené 氏 (<http://www.iplodge.be/team-hans-bracquene.html>,
<http://www.birmingham.ac.uk/research/activity/iel/news/2013/trybus-ESA.aspx>,
<http://www.bracquene.be/en>) は、疑いようもなく革新的な技術の法的な専門家でありフランドル地方議会への介入は昨日この表明を持って始まっています。しかし、Bracquené 氏は同時に IWT において、内閣においても責任者であり、その上彼は（12 月 18 日の紙面を参照）ハイテク企業の法的コンサルティングも行っていました。彼の立場は大臣の意思決定に関わり、
IMEC のような技術に対し数百万ユーロを与えているのです ”（IMEC の顧問弁護士として）興味深い点として、英国防衛省が所有する、フーンバラに本社を置く多国籍防衛技術会社キネティック社は (<http://en.wikipedia.org/wiki/Qinetiq>) 2005 年 9 月に Verhaert 社の 90% のシェアを獲得しています。これは防衛の英国省が行った英国外での唯一の投資です。

キネティック社はこの投資に€ 10.000.000 を費やし、ケシュ技術を手に入れようと試みましたが、この技術を利用するための最も重要なイグニッションキーともいえる技術が欠けていることがわかり、返金を求めましたが応じられませんでした。

-その証拠として De Tijd 紙にもこのキネティック社の Verhaert 社の買収は報じられていますが、明らかに本当の理由は報じられていません。

http://www.tijd.be/nieuws/ondernemingen_technologie/QinetiQ_zet_satellietbouw_er_

[Verhaert_Space_in_etalage.8195332-436.art](http://www.tijd.be/nieuws/ondernemingen_technologie/QinetiQ_zet_satellietbouw_er_Verhaert_Space_in_etalage.8195332-436.art)

2006

-ケシュ博士は E-Capital 社(ベンチャーキャピタルエンジェル <http://www.e-capital.be>) に投資を申し入れました。その際、彼らはケシュ博士に IMEC との機密保持契約に署名しすることを求めました。IMEC は E-Capital 社の大株主でもあります。

-ルーベン大学の原子力部門の責任者である William D'Haeseleer 教授 (<http://www.kuleuven.be/wieiswie/en/person/00014331>) が IMEC によって任命され、ケシュ博士のエネルギー技術の評価を任されました。E-Capital 社の取締役2名がこの技術は

90%~95%が正しいという結論に合意しましたが、彼らはそれにも関わらず、この技術はいずれにせよ否定しなければならないと述べています。この評価は、SUEZ (<http://www.gdfsuez.com>) に原子炉を国家資産として無償で提供しようベルギー国会に進言した科学者達が行ったのです。

-E-Capital 社の取締役の要請により、IMEC は交渉の途中で、コカ・コーラのペットボトルからナノ物質の SP2 層と SP3 層を生成するケシュ技術の独自の評価を行っています。それまで地球上で不可能とされていた、SP2 ナノレイヤーと SP3 ナノダイヤモンド

ドレイヤーが生成されたことを確認する報告書が制作されています。これは最も大きな技術革新です。ケシュ財団に保管されている IMEC の弁護士からの手紙には、[機密報告書](#)でこのような発見を開示することケシュ財団を禁止する内容が記載されています。(IMEC Raman Spectroscopy Report - 2006 参照)

特記；ケシュ財団は世界の人々全てによって所有される慈善団体であり、その結果、全ての人々の特権として機密保持契約の侵害を心配せず、ケシュ財団の提供する情報を知る権利を持っていると考えています。-このレポートに記載されているナノ物質は、2014 年 1 月 30 日に公開された福島を除染技術を公開したビデオで利用したものと同一物質です。

<http://www.youtube.com/watch?v=VpQbGwqSGRg&feature=youtu.be>

本報告書において、IMEC は、SP2 と SP3 を生産を核物質を利用しないでも実現するシンプルな行程を理解していないにも関わらず、ケシュ財団が生成に核物質の利用を行っているとは非難し、不正な犯罪者組織だという風評を広めました。これも Bracquené 氏によってベルギー政府の安全保障構造に基づいて施行されました。

2006 年末、ベルギー政府の要請により、SCK 原子力センターはコカ・コーラのボトルとボトル内で生成される物質の分析を続けるよう要求します。この試験によって γ 線やウラニウムやプルトニウムを利用せずナノ物質を生成する方法を研究しました。こ

の報告書の中で、生成物質の炭素含有量も確認されています。(資料：SCK PET Reactor Analysis and Diagnosis - 2007 参照)

2009

-オペル社が倒産。ベルギー政府は、アントワープのオペル工場の引き継ぎをケシュ財団に打診しました。この交渉の期間、ケシュ財団はベルギー国内の科学団体との協業を厳しく制限されていました。

2010

-ケシュ博士がカナダにて逮捕されました。

<http://www.keshfoundation.org/media-apapers/keshe-news/124-canada.html>

ケシュ博士の逮捕は所有していた書類やUSBの検閲を目的とした空港乗り換えの際の一時的な取り調べであり、すぐ釈放されました。

-犯罪組織からケシュ博士暗殺の恐喝がありました。特別警察による隠蔽はベルギー政府配下の犯罪組織によってコントロールされており、ベルギーの科学者を迫害する目的で行われました。

-Elektor 誌にケシュ財団の技術に関する記事が掲載されました。Elektor Article - 2010 参照

2011

-警察は11月25日にケシュ博士が翌26日のEindhovenのカンファレンスにて公開予定だった技術の一部をブロックしました。

-続いて28日の月曜、ベルギーにて、高速道路を走行中のケシュ博士の乗用車にリモコンで爆発する小型爆弾による暗殺未遂事件が起こりました。これはIMECが科学者の口封じを行うための典型的な手法として知られています。

2012

-ベルギーのあるカフェにて著書を執筆中だったケシュ博士の元へ、ベルギー国王のアルバート 2 世が訪ねて来て会話が交わされました。右の写真はその際の様子の写真です。



(ケシュ博士中央) しかし数日後、カフェのオーナーの元へ国王の家臣から連絡があり、ケシュ博士はテロリストなので至急追放するよう命令されました。

-ブリュッセルの FANC (Federaal Agentschap voor Nucleaire Controle:

<http://www.fanc.fgov.be>) の責任者が、ベルギー政府から委任されケシュ博士にベルギーを退去するよう命じました。

Naturopathica (自然療法協会) によって、ケシュ財団のプラズマセラピーが認められました。

Naturopathica による [証明書](#)はこちらからご覧下さい。(Naturopathica Certificate

-

2012 参照)

2013

FANC の命令に従わなかったケシュ博士に対して、8 人構成の暗殺部隊が連邦警察内によって組織され、ベルギーの自宅に事故に見せかけた暗殺を企てました。

ケシュ博士は連邦警察の更なる暗殺の企てを恐れ、ベルギーを離れました。



2014

ケシュ財団に対し、以前に起こった2件の暗殺事件関与し、取り調べを行った警官によって、連邦警察による更なる攻撃が始まりました。一部の良識あるベルギー警察署の警察官によって、ケシュ博士に警察署で行われた取り調べが犯罪的であり、連邦政府の依頼によって手配された犯罪組織によって指示されていることを確認しています。

この情報開示は、ケシュ財団の2014年の目標に基づき宣言された‘世界平和協定’の実現への取

り組みの一部です。 [http://forum.keshfoundation.org/forum/keshe-official/30510-2014-the-](http://forum.keshfoundation.org/forum/keshe-official/30510-2014-the-year-of-the-change-for-the-humanity)

[year-of-the-change-for-the-humanity](http://forum.keshfoundation.org/forum/keshe-official/30510-2014-the-year-of-the-change-for-the-humanity)

[Link to the forum post copy](#)

この新たな技術と知識は世界中の主な問題のほぼ全て、飢饉、水不足、電力供給不足、気候変動や病気を、プラズマリアクターを利用することで解決することが出来ます。そして私たちは宇宙をも自由に移動する技術を提供することが可能になるので

本発表にあるように、ケシュ財団の技術は10年もの間正しいことが証明されてきたにも関わらずベルギーの連邦警察の Bracquené 氏や同警察官の Delanoy 氏の脅威の元に隠蔽され続けて来ました。

我々は宇宙の知識を皆様と共有することにより、すべての地球に生きる人々のため、豊かで健康的な喜びに満ちた生活を実現するよう研究を進めて参ります。私たちの技術と知識は皆様に自由にご利用いただけます。

私たちはもはやこの虚構と情報操作によってねじ曲げられた現実を受け入れるべきではありません。私たちはひとりひとりが心を開くことで、この地球に天国を実現する

力を持っていることを改めて認識いただき、地球上のすべての命を尊重する新しい文明と一緒に築きましょう。



2014年2月26日 ケシュ財団